

皆さん、こんにちは。

この1学期、いろいろなことがありました。そして、いろいろなことが無かった1学期でもありました。新型コロナウイルス感染症が確認されてから半年以上の時が流れているにもかかわらず、未だ放送を通して皆さんに話しかける形をとらざるを得ない状況が続いています。今日の終業式だけではなく、長期間にわたり新型コロナウイルスが我々の身の周りに存在し、これまでの日常を大きく変えています。

私は4月に本校に着任しました。今振り返ると、新型コロナウイルスに翻弄された1学期だったように思います。入学式や学年別登校日に皆さんの顔を1度だけ見たあとは、6月まで、直接会って話をする事ができない状況が続きました。「生徒が登校しない学校」そんな学校になかなか馴染めず、とても寂しい思いをしていました。校長がそんな状況でも、先生方は皆さんやご家庭の方々の協力を得ながらオンライン授業に取り組み、なんとか学びを止めずに歩むことができました。改めて、皆さんとご家庭の方々に感謝致します。

話は変わりますが、本校の学校目標に「地球サイズの教育を行う」

という文言があります。WWL の指定校として、地球サイズの学びを体験して欲しいと常々思っています。今年度も、国内に限らず海外の多くの方々とも直接触れ合い、「本物から学ぶ」機会を数多く準備していましたが、その「直接学ぶ」場面を実現することがなかなか難しい状況にあります。しかし、「この状況だからやれない」と簡単に片づけてしまわず、「この状況の中、どのようにすればやれるのか」「どこまでならやれるのか」というような発想の転換が今、学校に求められています。前期生徒会執行部の皆さんからは、学校行事の開催に関する要望書もいただいています。もちろん、「安心・安全」を無視して前に進むことはできませんが、「with コロナ」の時代、みんなで知恵を出し合い、本校の歩みを進めていきたいと思っています。まさに、本校が創立時に標榜した「現代の松下村塾」を実現したいと思っています。このことについては、2 学期の始業式でさらに話を続けるつもりです。

さて、明日から夏休みに入ります。昨年までとは比べものにならないくらい短い夏休みです。それに加えて、さまざまな制約を受けた中での生活となりますが、感染症対策をしっかりと行い、できる範囲の中で、最大限、楽しく・充実した時間を過ごしてください。